

令和 6 年度 コミュニティ・スクール 合同交流研修会

2 年目に入った小学校・中学校に加え、今年から運営が始まった市内幼稚園のコミュニティ・スクールの運営のヒントとなるように、市内の学校運営協議会関係者が一堂に会し合同交流研修会を開催しました。

今年度は、祇王小学校・三上小学校の 2 校をクローズアップし、実践事例の発表していただきました。「これなら自分たちにもできそう」と思ったところは自分たちの学校や園に合うように形を変えて取り入れてほしいと思います。

実践発表

① 祇王小学校コミュニティ・スクール

～地域の力を学校へ 学校の元気を地域へ～

祇王小学校コミュニティ・スクールでは子どもたちを見守りながら、学校生活をもっと知りたいという学校運営協議会のメンバーの意見から「ぎおうっこひまわり隊」が発足しました。「ぎおうっこひまわり隊」は、今年 10 月から毎週木曜日に校内の子どもたちの様子を見て回っています。「子どもたちの変化に気づく」を大切に子どもたちに声をかけています。「子どもたちのほうから『今日、誕生日やねん!!』と教えてくれることもある」と子どもたちとの温かい交流の様子も聞かせていただきました。顔と名前の見える温かい関係づくりをしています。

また、地域の方から「学校のしきいが高い。」「先生の顔が見えにくい。」という声があることを知り、これを解消するためにどうすれば学校の敷居を低くできるのかを学校運営協議会で

熟議し、学校をサポートする保護者や地域の方が気軽に集まれる「ひまわりルーム（コミュニティールーム）」が設置されました。



② 三上小学校コミュニティ・スクール

～「やさしく、かしこく、たくましく生きる三上っ子」を育てよう～

「地域と学校のコミュニケーションの不足が地域と学校の共通課題である」ということから、①教員と学校運営協議会委員の顔合わせを第一目的とした合同研修会の開催、②実際には機能していない学校応援団を解散し、子どもの未来のために教育活動に協力する新たな組織を作ること、③校長が変わっても持続可能な組織をめざし、推進員と校長が熟議すること。の 3 点に目的を絞って取り組んだ三上小学校コミュニティ・スクール。今後は、地域と学校がお互いを尊重し協力し合いながら、誰もが無理なく参加できる持続可能な組織をつくり、「子ども・教職員・家庭・地域みんながいきいきと元気に暮らす三上」の実現を目指し取り組んでいきます。

次年度に向けて協議！

実践発表や今年度の取り組みをもとに次年度自分たちの学校園のコミュニティ・スクールをどうしていきたいか、なにか参考にできることはないか各学校園ごとに熟議を行いました。

自分たちの学校や地域の特徴はなんなのか、子ども達にどのように育ってほしいか、次年度何ができるのか、どんなところに注目して取り組んでいくのか等、話したいことがたくさんあり、時間いっぱい熟議がおこなわれました。

